

通常の学級の担任との打ち合わせ

年度当初の事例研において、交流している「なかよし遊び」や「がんばり運動」の活動における配慮事項は、簡単に確認し合った。それぞれの活動を進めていく中で、適宜口頭で打ち合わせをした。

1学期の「がんばり運動」(火・木の朝の活動)は、2学期に行われる運動会の演技につながる運動をしている。3年生は、C児が苦手なボール運動をしており、打ち合わせをしながら交流を進めた。



< 4月 >

< C児の様子 >

- ・苦手なことには、活動が停滞する。「がんばり運動」の前日は、「緊張する。」と家で話し、登校をしづむことがある。
- ・はじめてかかわる人だけでなく、緊張していると話しかけられても話さないことがある。逆に、気持ちが高ぶっているときは、指示が入らず、ふざけることもある。
- ・両手でボールを落とすことができるが、バウンドパスがとどかない。ドリブルはできない。
- ・家庭では、C児のペースを大切にし、母が練習する機会を作っている。

< 通常Tのかかわり方 >

- ・どうやって接していいのか分からない様子である。
- ・ボール運動のやり方を言葉で教えたり、やって見せたりするが、C児がうまくできず、どのように教えてよいか分からない様子である。

< 活動を進めていく中で確認してきたこと >

- ・注意するような場面は、当面は担任がする。まずは、C児との関係を作ってほしい。
- ・これまで通り、少しの上達を見つけ、褒めながら、自信につながるようにしてほしい。
- ・言葉だけではうまくできないので、手を取って一緒にやったり、バウンドさせる場所に印を付けたりして、わかりやすくやってほしい。

< 7月 >

< C児の様子 >

- ・バウンドパスができるようになってきた。「がんばり運動」の前日でも、気にしなくなった。
- ・学年の教師の名前を覚え、一緒に活動している。
- ・ペアになった児童も、C児なりのがんばりを認め、共に運動する姿がある。
- ・活動の指示や流れも理解でき、落ち着いて活動している。

< 通常Tのかかわり方 >

- ・C児が少しでもできたことを大いに褒めている。
- ・手を取って一緒にやってみたり、バウンドさせる場所に×印を付けて分かりやすくしたりしている。
- ・C児のペアの優しいかかわりを学級でも広めている。

< 運動会前に通常Tにお願いしたこと >

- ・練習計画を出してほしい。
- ・演技の動きや隊形移動の図、BGMのCDを早めに教えてほしい。
- ・ペアになる児童を配慮して選び、C児とペアになることも了解を取ってほしい。

< 練習中の様子、運動会を終えた様子 >

< C児の様子 >

- ・練習が始まった当初は、曲に合わせてドリブルをすることができず、練習をしづむ姿がみられた。
- ・練習計画、演技図、CDを家庭に早めに渡すことができ、家庭でも練習し、自分なりに技を身に付け、しづむことがなくなった。
- ・C児からの難しいバウンドパスも上手に捕り、C児なりのがんばりを励ますことができるペアになった。C児も演技の練習に取り組みやすく、上達し、自信につながった。
- ・本番では仲間とともに演技をすることができ、満足そうな表情だった。お家の方も大変喜んでくださった。

< 通常Tのかかわり方 >

- ・(運動会練習中は担任も一緒に授業に行くため、技術指導はしないが)授業前後にC児に声をかけ、励ましている。
- ・C児のペアのがんばりを認めている。